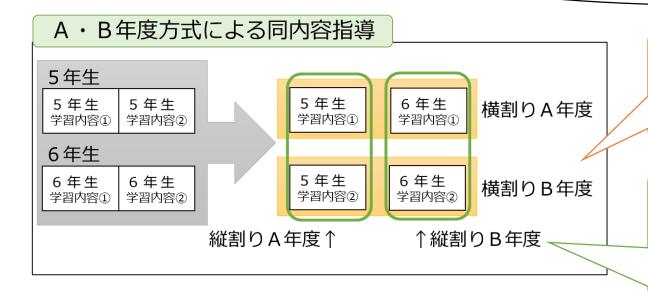
●特別の教科 道徳をA・B年度方式で指導する

2学年が一緒に学習する 特別の教科道徳の指導の工夫

第1・2学年、第3・4学年、第5・6学年の 複式学級で行う特別の教科 道徳の実践より

A・B年度方式とは

2年間で2学年分の学習をしようとする考えです



【横割り方式】

領域・分野の中で系統性や順序性を考慮しながら、 両学年の内容を混合して配列した指導計画を立てる 方法です。

【縦割り方式】

両学年の学習内容を2年間にわたって、別々に配列する方法です。例えば、1年次(A年度)は5年生の内容を、2年次(B年度)は6年生の内容を指導するという計画です。

学習指導要領(平成 29 年告示)「特別の教科 道徳」でも・・・

目標を達成するために、内容項目を4つの視点から捉え、低・中・高に分けて示されています。

第1・2学年、第3・4学年、第5・6学年の複式学級においては、 同主題同内容同程度での年間指導計画を作成し、指導することが考えられます!

同主題同内容同程度で行うよさ

【児童】

◎ 2学年で学習することで、意見交流が活性化するとともに、 多様な見方や考え方に触れるチャンスが増える!

【教師】

◎ 学年間をわたらなくてよいため、児童一人一人の感じ方 や考え方をしっかりと見取りながら、授業を展開すること ができる!

TRY !

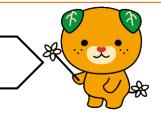


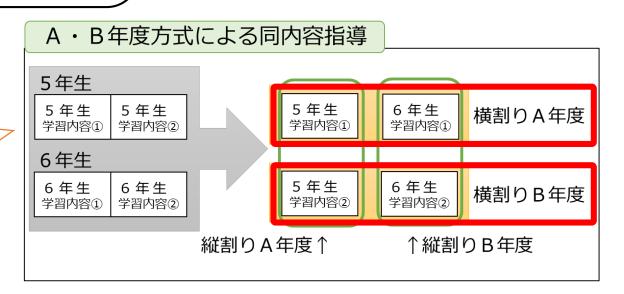
- ① 2学年分の年間指導計画を、A・B年度で作成しよう
- ② 2学年で円滑に授業を進める手立てを講じよう

- ① 2学年分の年間指導計画を、A・B年度で作成しよう
 - 2 学年(A・B年度)年間指導計画作成例

2学年の内容を混合して 配列する【横割り方式】で 指導計画を作成しました!

作成の手順





- サ校や学年の重点目標を設定する。
 - ※ 児童や学校、地域の実態を考慮して設定する。

低・中・高学年ごとに、重点内容項目を設定する。

学校評価や、 保護者アンケート等を 参考にすることも考えられます。

- ① 2学年分の年間指導計画を、A・B年度で作成しよう
 - 各学年の年間の内容項目一覧表を作成する。
- 抜け落ちがないように
- ※ 1・2年19項目、3・4年20項目、5・6年22項目を確認
- ※ 設定した重点内容項目を中心に割り当てられているか確認
- ※ 「『愛』ある愛媛の道徳」や「きょうだい」等の副読本とのバランスを確認
- 4 各学年の内容項目を、A・B年度に振り分ける。
 - ※ 内容項目で学年の偏りができないよう、バランスよく振り分ける

カリキュラム・マネジメント

- ⑤ 季節や学校行事、教科等との関連を考え、実施月・週の 計画を立て、一覧表を作成する。
 - ※ 指導の効果を考えて、時期を離して学期ごとに内容項目を配置するのか、 時期を近づけて繰り返し扱うのか吟味する

① 2学年分の年間指導計画を、A・B年度で作成しよう

(例) 第5・6 学年指導計画

下学年の教材は、

A年度(高学年)

で表す

Ī	高学年の指導計画 A年	度			高学年における指導の重点目標 ●A-5 希望と勇気、努力と強い意志
指導 時期	數 材 名 (主題/内容項目)	内容	項目番号	配当 時数	ta 5 V
	【道徳開き】 新学年のどうとくの学習が始まるよ			1	○新学年の道徳の学習についての心がまえをもつ。
4月 ③	図書館はだれのもの (法やきまりを守って/C 規則の尊重)	С	12	1	○図書館でのできごとを題材にして、法やきまりの意義を考え、すすんでそれら 他の権利を大切にすることができるようになる。
	今度こそ! (自分の行動に責任をもって/A 善悪の判断,自律,自由 と責任)	Α	1	1	○集会委員の役割を題材にして、自ら考え責任をもって取り組むことの大切されてある行動をすることができるようになる。
	たからもの (短所を改め長所を伸ばす/A 個性の伸長)	Α	4	1	○日記帳を通して自分のよさに気づき、前向きに生きる児童の話を題材は 長所を考え、伸ばすことができるようになる。
5月 ③	志高く、今を熱く生きる(渋沢栄一) (国や郷土を愛する/C 伝統と文化の尊重,国や郷土を愛する態度)	С	17	1	○日本の発展に尽くした渋沢栄一の功績を通して、先人の努力を知り、我 文化を大切にすることができるようになる。
	父の言葉(黒柳徹子) (相手の立場に立って/ B 親切,思いやり)	В	7	1	〇黒柳徹子さんの幼少期のエピソードを通して、思いやりをもった行動につめ、相手の立場に立って親切にしようとすることができるようになる。
	オオカミから教えられたこと(坂東元) (かけがえのない命を尊重する/D 生命の尊さ)	D	19	1	○動物圏でのオオカミの飼育を題材にして、生命の尊厳について考え、生 ことができるようになる。
6月	知らない間のできごと (豊かな人間関係をつくる/B 友情,信頼)	В	10	1	○不用意なメールの使い方により気づかないうちに友達を傷つけてしまった 材にして、友達との信頼関係について考え、人間関係を築いていくことが る。
4	手品師 (献実に明るい心で/ A 正直, 誠実)	Α	2	1	○夢に近づくチャンスよりも男の子との約束を選んだ手品師の姿から、誠? について考えを深め、明るい心で生活することができるようになる。
	変わっていくぼくの心【きょうだい】 (B 友情、信頼)	В	10	1	○一人一人が認められ、大切にされる集団となるために、自分に何ができる 態度を育てる。
7月	「愛」ある愛	媛	1		徳」や「きょうだい」

年度当初は、特に下学年の負担を考慮する

- 読みやすい分量の題材を選ぶ
- 下学年の題材を扱う

・考え、 責 ○ネルやキデーム保証後っているとき、「ほく」はどのとうな資格もだったでしょう。
○6キらやとした気持ちをかかえた言葉ステージがらおりたとき、「ほく」はどのとうなことを見っていたでしょう。
○25して「ぼく」は、65一度可合をやるせてばれいと知識いしたのでしょう。 新し合ってみぎしょう。

例)内容項目集計表

		内 容	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	1	善悪の判断、自律、自由と責任	1								1			2
	2	正直、誠実			1									1
Α	3	節度、節制				1		1						2
A	4	個性の伸長		1										1
	5	希望と勇気、努力と強い意志				1	1	1						3
	6	真理の探究、創造											1	1
***************************************	7	親切、思いやり		1								1		2
	8	感謝										1		1
В	9	礼儀								1				1
	10	友情、信頼			2				1					3
	11	相互理解、寛容					1							1
	12	規則の尊重	1											1
	13	公正、公平、社会正義							1	1				2
	14	勤労、公共の精神						1						1
С	15	家族愛、家庭生活の充実									1			1
	16	よりよい学校生活、集団生活の充実					1							1
-	17	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する心		1						1			1	3
	18	国際理解、国際親善							1			1		2
	19	生命の尊さ			1									1
D	20	自然愛護										1		1
D	21	感動、畏敬の念									1			1
	22	よりよく生きる喜び						1	1					2
その他			1											1
		合 計	3	3	4	2	3	4	4	3	3	4	2	35

② 2学年で円滑に授業を進める手立てを講じよう

2 学年で授業を進める際のポイントは?

該当学年に応じた教材となっているので、特に上学年の教材を扱う際には、登場人物の心情や、場面の状況等について、想像しやすい工夫をする。

教材文も長くなってくるから、 できるだけ下学年に分かりやすい 工夫がいるね

少人数を生かして、個々の様子を細やかに見取りながら、 子供たちが話合いを通して、自分の考えを深めていけるよう、

コーディネートする。

せっかく 同主題同内容同程度で 授業するのだから、 一人一人がしっかり 発言してほしい!

目指せ! 「考え、議論する道徳」

② 2学年で円滑に授業を進める手立てを講じよう

工夫例

教材の視覚化を図るため、画像や動画、イラスト等を活用する。

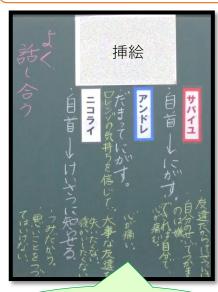
デジタル教科書等の活用



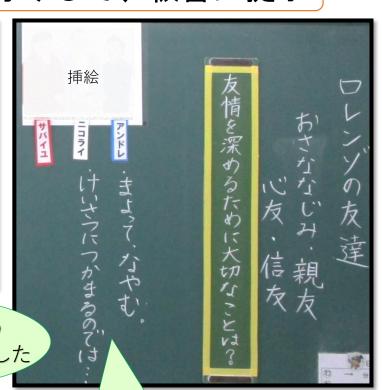
5年生にとっては、 人物や時代背景について 十分な知識がないな・・・



登場人物を色分けして、板書に提示



中心発問となる場面の 教科書の挿絵も提示しました





デジタル教科書の動画資料や、 関連するテレビ番組等を視聴してから 学習を始めることも考えられます 第1・2学年であれば 挿絵だけを映して 読み聞かせすることも 考えられるね!

教科書の挿絵に使われている 登場人物の服の色と合わせて、 人物名を提示しました

② 2学年で円滑に授業を進める手立てを講じよう

工夫例

体験を共有するための時間を設定する。

本時の教材に関連する上学年の 既習内容について画像で想起



上学年が下学年に伝える場面を設ける

下学年も疑似体験する機会を設ける



工夫例

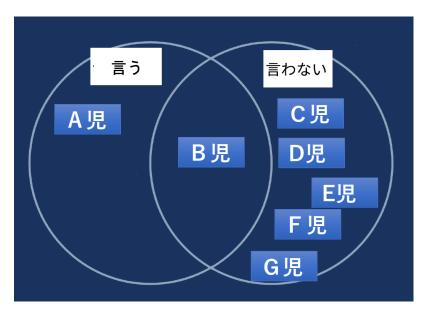
子供が自分たちで進める話合いの場を設定する。

互いの顔を見ながら、自分の言葉で話す場づくり

私は、相手のためを思って 言ったんだと思います ぼくは A さんの考えと反対で、 相手の気持ちを考えたからこそ 言わなかったと思います



ICTの活用



考えや立場を明らかにしたり、 話合いの前後で、自分の考えの 変容を視覚的に捉えたりするために、 ICTを活用することも 考えられます。